

はるかぜ女 ネットワーク

【年賀号】



皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和3年 元旦 

(写真掲載につきましては、ご本人・ご家族のご了承を得ています)

新年のごあいさつ

理事長 清田 武俊



あけましておめでとうございます。

例年ならば素直に交わせる正月の挨拶も今年は何かはばかれるようなコロナ禍です。年末は感染の広がりが危機的状況という報告が続いていましたが、新年を迎えた今もおそらく事態は変わっていないでしょう。人との交わりが制限され、どのご家庭も静かなお正月をお過ごしのことと存じます。

昨年春先からずっと続いているコロナの影響は私たちの生活のあり方を大きく変化させました。平和な時代に何となく当たり前と思っていたことが突然、底が抜けたようになってしまい、大きな戸惑いと生活の不安が増大しています。国は莫大な国費を投入して感染の終息に努めていますが、どこかちぐはぐで後手後手にまわり実効性のある取り組みになっているとは思えません。ただでさえ借金まみれの財政ひっ迫時期に新たな借金が積み上がり、医療介護の将来にも大きな影を落としています。

しかし、よく考えてみるとこれまであまりに国や社会に頼り過ぎて、自分でできることまで他者に依存していた傾向はなかったでしょうか。ちゃんとやってもらえないことに不満ばかり言って自分では何もしないでいるといったことがなかったでしょうか。社会全体が甘えの体質になっていたのではと私自身も振り返って反省しています。昨年 NHK の連続ドラマ“エール”を久しぶりに毎日見続けましたが、戦前戦後の日本の状況を思い出すいい機会になりました。日本人が極めて厳しい状況の中でも立ち直ってきた軌跡に、改めて勇気と元気をもたらした気がしました。

もともとあったこと、できていたことができなくなることへの喪失感は大なものがありますが、今の時代は衣・食・住どれをとっても戦後の状態と比べようもない位、恵まれています。多少の不便は覚悟して、地域で助け合いながらそれぞれが自立した生き方を目指すことはまだまだ可能だと思います。私たちの使命は、自助・互助の精神でたくましく生きていこうという皆様のいざという時の支えになることだと思います。かかりつけ医として、これからもしっかりと信頼関係を築き、みなさんと一緒になって安心して生活できる地域を作っていくことを目指します。

コロナ禍は地域のあり方、医療・介護のあり方を本来のあるべき姿に見直し、堂々と生きていく日本人の姿を取り戻すきっかけになるような気がしますし、そうありたいと強く感じます。春日クリニックはコロナに負けない強い地域作りのため今年も頑張っています。どうぞよろしくお願い致します。



年頭の所感

あけましておめでとうございます。

2020 年は予想もしなかった新型コロナの流行により東京オリンピックも延期になり忘れられない1年となりました。当院では、ともかくまだ不明なことが多く極めて厄介なウイルスに対抗するために、2月末から玄関先で入館時の厳しいチェックを開始いたしました。

当初は、いちいち面倒な取り組みに気分を害された方もいらっしゃったのではないのでしょうか。しかし、危険なコロナの実態がわかってくるにつれ、徹底してやってもらうほうが安心と、むしろ評価していただくようになりました。今では皆さまのほうから、“県外に行ったので外で待ちます”“県外の夫が帰ってきたから車で待ちます”などと自己申告いただくようになり嬉しい限りです。

クリニックのスタッフも感染への不安がなかったとは言えませんが、こんな時こそ地域の役に立ちたいと積極的に取り組んでくれました。日々更新される医療情報に基づき、取り得る最善の対策に努めてきたことで、今のところ特に問題もなくコロナ以外の日常診療も普段通りに継続できています。皆さまのさまざまな形での支援や励ましが、どれだけ力になったかわかりません。この場を借りて心より御礼申し上げます。

“コロナ禍に負けず、いつもと変わりなく元気で過ごしていただきたい”という私たちの熱い思いと、エールを送ってくださっている皆さまのご理解とご協力が合体すれば、いつか必ずこの困難を乗り越えることができると確信しています。

2021 年もすぐにはコロナは終息しそうにありません。新しい生活習慣を守り、感染予防に努め、皆さまと力を合わせて戦っていきましょう。今年もスタッフ一同元気に頑張ります。清心会グループをどうぞよろしくお願ひ致します。



院長
清田 眞由美



医師 ごあいさつ

あけましておめでとうございます。2020年は思いもよらぬ変化の連続で、あっという間の一年間でした。これまで「常識」とされていたことをもう一度考え直す機会をもらいました。ロックダウンや在宅ワーク等今までは考えられなかった変化の中で、「誰のために」「なんのために」に目を向け、新たな方向へ舵を切った人も多いと聞きます。



上野 真理子

2021年は丑年。牛は十二支の中で一番歩みの遅い動物です。先を急がず、一步一步着実に物事を進めることが大切な年とされています。車に乗っていれば目的地へは早く着きます。でも、途中にあるものにどれくらい心を向けられるでしょうか？道端の草花の美しさ、季節ごとの空気の香り、落ち葉を踏む音。どれも急いでいては気付かないものばかり。ゆっくりだからこそ感じるものもあります。情報に振り回され、忙しくしているといろんなものが「ある」ことを忘れてしまいます。こんな時だからこそ、心穏やかに、日常の中にある「幸せ」を味わいながらゆっくりと歩みを進める一年にしていきたいと思います。

あけましておめでとうございます。

去年の今頃は東京オリンピックイヤーの2020年がこのような特異な一年になるとは誰も想像できなかったでしょう。昨春以降、社会の在りようも、人との関わり方も、経済の流れも、人の心の形も、あらゆるものが変化を余儀なくされました。当たり前の日常が簡単に崩れ去り、私たちは少し先のことでさえ想像できない不安な毎日の中にいます。

コロナ禍は社会の在り方を見つめ直し、立場の異なる人たちへの共感が試される機会だと思えます。自由を奪われるとはどんな社会なのか。自分で考え、判断し、社会の中での自分の責任を理解しながら、自分で道を決める、そうしたことを学ぶ機会だったのかもしれませんが、目の前の苦難にめげず、苦しみをみつけた時にこそ人を成長させる力があると信じたいと思います。

2021年。私は冷静さを保ちつつ、気を強く引き締め、そして心を大きく開いて日々を過ごしていきたいと思います。



小出 香子

皆様、あけましておめでとうございます。

非常勤医師の高柳です。皆様はどのような年末年始を過ごしたでしょうか？

2020年の新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は大きな変革をもたらしました。医療においては、感染対策のため人と人之间には様々な仕切りが設けられました。しかし、だからこそ医療者と患者さんとの信頼関係の妨げとならないような診療を心がけていきたいと思っています。

年も引き続きよろしく
お願いします。

高柳 宏史



明けましておめでとうございます。

非常勤医師として、土曜日に外来診療や往診をさせていただいております新地祐介と申します。

皆様、昨年は新型コロナウイルスの流行に伴い、これまでとは全く異なった一年を過ごされたかと思えます。また、外来診療におきましても、感染防止対策にご協力いただき誠にありがとうございました。未だ出口の見えづらい状況であり、不安や心配も多いと思いますが、少しでも皆様に寄り添える診療を心がけていきたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。

新地 祐介



はるかぜネットワーク年賀号 2021

◎ 理事長・院長 新年のご挨拶	2～3
◎ 医師 ごあいさつ	4
◎ 外来診療部（看護部・医事調剤課）	6～7
◎ はるかぜ訪問看護ステーション	8
◎ はるかぜ居宅介護支援事業所	9
◎ はるかぜ介護福祉ステーション	9
◎ はるかぜ通所リハビリテーション	10
◎ デイサービスセンターはるかぜ	11
◎ 看護小規模多機能型居宅介護はるかぜ	12
◎ 小規模多機能型居宅介護はるかぜ	13
◎ サービス付き高齢者向け住宅杏心の丘	14
◎ 経営管理部	14
◎ 委員会活動	15



昨年は新型コロナウイルス感染症対策のため、年中マスクを付けっぱなしで、なかなか素顔を見る機会がなかったと思います。せっかくの年賀号、紙面上ではマスクを外そうと、写真撮影の際は、ごく短時間マスクを外しました。普段はちゃんとソーシャルディスタンスを取り、マスクも着用していますのでご安心ください。

各部署が自由に作成した年賀号、それぞれのカラーが色濃く出ています。最後までどうぞお楽しみください。

春日クリニックグループ 聖火リレー

安心ネットワークを担うそれぞれの事業所が、新年に向けたアツい思いを聖火でつないでいきます。

それぞれのページで誰かが必ず聖火トーチを持っていますので、ぜひ探してみてください。



KASUGA 2021

外来診療部よりごあいさつ

一生で一度遭わないかもしれない疫病や災害に悩まされた2020年。毎年新年を迎えられることの幸せに感謝しながら普通の生活がどれだけ幸せなことかを考えさせられました。大切な人と会うこと、好きなところに出掛けること、当たり前前にできていたことが当たり前前にできない。しかし家族と一緒に過ごす時間が多くなりかえって絆が深まったり、普段できなかったことができた、自分自身の人生さえも見直す変化の年ではなかったでしょうか。生活や人生に向き合い、本当に必要なものを選択したいが、考え方次第で良くも悪くもなり、知識がなければ必要なものがわかりません。あなたが思う医療・介護について気軽にご相談ください。本当に必要なものは何か一緒に考えてみませんか。何気ない会話や行動の中から本人や家族も気付かない問題を、専門職がトータルサポートします。笑顔になれる瞬間を共有し、あなたが望む医療・ケアを一緒に創りましょう。

看護部



柏田



山下



米村



久保

看護部



安田



松本



池井



代々

言語聴覚士



宮崎



松井



松永



梅田



中西

検査科



外来診療部

医事調剤課よりごあいさつ

一陽来復。良くないことが続いた後に良いことがやってくるというこの言葉を今年の年頭ほど巡らせた年はありませんでした。日々の感染者数を目で追う日が続き、経験したことのない行動制限や生活の様式に「ふつう」の在り方が遠く感じられます。今では新しい生活スタイルとしての感染防御が抵抗を感じないレベルにまで浸透してしまいました。

そんな中、人の集まる場所となるクリニックへの受診を続けられる皆さんに、徹底した感染防御を行いながらも普段通りの対応で安心を提供出来るかスタッフ一同考え続けています。防御の盾となるフェイスシールド、そして全身を覆う防護服を必要とする現場もあります。せめて見える範囲での表情や発する声で「ふつう」通りの春日クリニックを感じていただけたら幸いです。冬は必ず春となる。暖かい春はもうすぐだと信じています。

薬剤師

医事課



平山



甲斐



江本



南里



濱田



池下

医事課



廣田



佐藤

医療秘書

管理栄養士

調剤課



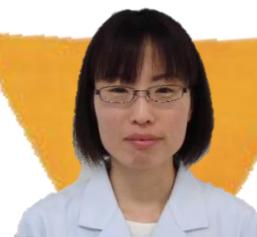
原



渡辺



牛嶋



沼野



はるかぜ訪問看護ステーション

昨年はコロナ色につらい一年となりました。そんな中でも、私達スタッフを気遣ってくださる皆さんの温かい言葉に励まされ乗り越えられた一年でした。

4月より新体制でスタートした訪問看護はナース6名、事務1名、総勢7名に増えました。今年もチーム一丸となり、地域を支える要としてそれぞれの力を惜しむことなく思う存分発揮していきたいと思ひます。



今年も皆さんのもとへ
元気に訪問いたします。

所長
森 美和



今年も元気いっぱい、
利用者の皆さんの笑
顔が増えるよう頑張
ります！ 有江



30代最後の年ですが
訪問看護の若手として
今年もフットワーク軽
く走り回ります。村上



皆さんの健康と生活
を守る縁の下の力持
ちでありたいと思ひ
ます。 西村



笑顔とチームワークで
皆さんに安心をお届け
します。フットワーク
軽く頑張ります！田中



利用者さん、家族に
寄り添い安心できる
訪問看護師を目指し
ます。 永田



皆さんの生活を第一
に考えた看護をこれ
からもずっと目指し
ていきます。 境

はるかせ居宅介護支援事業所



吉田 幸代



所長
山田 祐子



中嶋 嘉代

元気な時から最期まで「ずっと診つづける」春日クリニック安心ネットワークの支え役として、自分らしい生活が送れるように支援していきます。また、利用者やご家族に寄り添うことで私のケアマネジャーと呼ばれるように努めます。コロナに負けず、笑顔あふれる1年にしていきましょう。



金子 崇

はるかせ介護福祉ステーション

今年も「吞牛之氣」でがんばります

まだまだ大変な状況が続いていますが、また1年、皆さまの暮らしがより豊かで温かく、輝かしいものになりますように、スタッフ一同、心をこめてご支援致します。日々の生活に小さな幸せをお届けできるよう、牛のようにどっしりと確実な歩みを続けていきます。

今年もいつもの顔が訪問します。宜しくお願い申し上げます。



徳澄

目久美



兼田

大迫

永見

主任 杉本

所長 白石



はるかせ通所リハビリテーション・春日クリニック訪問リハビリテーション

今年は、牛歩で、ゆっくり・
確実に進んでいきます。

来年も皆さんに元気を与え
られるように、明るく頑張
ります。

介護福祉士 松村

理学療法士 井手

初心を忘れず、一つ一つを
大切にしていきます。

介護福祉士 安部

去年より、モォーっと
フットワーク良く
動いていきます。

作業療法士 竹丸

理学療法士 西

コロナに負
けず、皆さん
の「元気」と
「生活」を支
えます。

理学療法士 山内

いっぱい食べ
て、飲んで、
寝て…元気に
過ごします。

理学療法士 坂井

今年も笑顔で
リハビリを一緒
頑張りましょう。

理学療法士 小川

小さいことでも、新しい
ことに挑戦する年にしてい
きます。

通所・訪問リハビリでは、事業所スタッフとのつながり、
他部署とのつながりを大事にし、お互いに手を取り合い、い
つまでもその人らしく、やりたい事をやれる形でできるよ
う、専門的な技術を持ったスタッフが支援していきます。

コロナの影響の中で人との接触は少なくなりましたが、
心の触れ合い=『絆』を大切に、2021 年も取り組んでま
いります。





デイサービスセンターはるかぜ

明けましておめでとうございます。

今年のデイサービスはるかぜの一字は「金」です。

金は、美しい光沢を含み有用な性質を多く持つ物とされています。

私たちデイサービスのスタッフは、1人ひとりが素晴らしい個性を持ち合わせています。今年はその個性を更に輝かせ、利用者さんやご家族の金色に輝く笑顔を引き出すお手伝いをしていきます。



所長：岡本



楽：楽しいデイサービス！明るい雰囲気作りを目指します。（佐藤）

新：新たなことにチャレンジします。（北野）

癒：皆さんに癒しを与えられるような存在になります。（志賀）

深：利用者職員、皆さんとの絆を深めていきます。（福永）

明：明るく楽しく毎日を利用者さんと過ごします。（脇田）

実：チャレンジすることを忘れず、充実しり多き年にします。（宮田）

全：何事にも、全集中で全力投球します。（林）

笑：毎日笑顔で過ごします。（水上）

竹下



育



看護小規模多機能型居宅介護はるかせ



ケアマネジャー 山下 望

今年の看護小規模のスローガンは「チーム力」。職員一丸となってよりよい看護小規模を作っていきます！



看護主任 永田 登美子

2021、看多機は介護、看護一体となり笑顔溢れる対応をしていきます。医療面でも全力を尽くします。



看護師

小山 綾子

結婚しました！！
仕事に、家庭に両立
できるよう頑張ります。

介護福祉士

北本 詠子

今年は言葉だけでなく、
もっと行動を起こしていき
ます♪



介護福祉士

津崎 可菜子

利用者に寄り添える
介護ができるよう
努力精進します！

介護福祉士

松田 結子

今日も来て良かった。
あなたと話して元気が
でたと言って頂ける
安心と信頼を得られ
る介護者を
目指します。



介護福祉士

澤田 誠之介

真心を込めたケアを
行なっていきます！

介護福祉士

吉田 達也

ご利用者さんが笑顔
で楽しめる環境をつ
くります！



介護福祉士

緒方 里美

失敗を恐れず、「叩け
よ、さらば開かれん」
の精神でチャレンジ
します！

介護福祉士

井上 利明

今年は万里一空で
日々努力！



明けまして

おめでとうございます。
 激動の年明けを迎えました。
 今年も看多機スタッフ一同
 地域に必要な
 「第2の我が家」として
 信頼していただけるよう
 精進していきます。
 よろしくお願い致します。

所長 伊原 由紀



小規模多機能型居宅介護はるかぜ

あけまして

おめでとうございます。
 今年は、昨年以上に利用者さん
 と職員の笑顔が溢れる小規模
 を目指して職員全員で取り組
 んでいきます！

所長 菅田 義久

看護小規模多機能型居宅介護

はるかぜ



介護福祉士

田辺 靖子

日々笑顔で、一生懸命
 頑張ります。



介護福祉士

池田 美穂

初志貫徹！
 信頼される介護士を
 目指します！



介護福祉士 永田 昌代

元気と笑顔を届けます！



看護師

山本 亜紀

今年も笑顔で過ごせる
 年でありますように元
 気で頑張ります。



看護師

小西 恵美

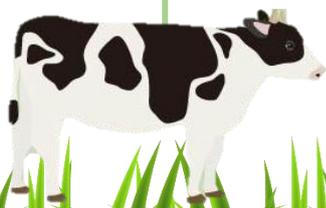
明るくて楽しい小規模
 はるかぜ。
 笑顔いっぱいにします。



介護福祉士

浅山 千亜紀

何時も笑顔を
 絶やさず
 皆に幸せを！





丑年 新年のご挨拶 杏心の丘 館長 浦上 誠

丑

干支の始まりである子から始まった令和2年でしたが、人の暮らし方を一変する出来事が起きるとは誰も想像できませんでした。杏心の丘で日常的に行われていたクラブ活動等も中止となり、入居者同士の交流、家族や友人の出入りも自由、外出も外食も自由な「普段の事」「当りの事」が出来なくなりました。

最初の国内感染者が出て1年となります。皆さんやご家族、職員も含めストレスも相当なものと想像しますが、ワクチンや新薬が出来ない限り、今までに経験したことがない生活環境に適応した生活習慣を新たに創造していくしかありません。

新型コロナウイルスの影響で、今まで出来ていた事が出来なくなったことばかり考えているのはストレスが溜まるばかりです。子年が新たな生活習慣を考える種まきの年とすれば、何らかの芽が出てくるのが丑年です。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくと言われています。

今年は、「外出等の規制をする側・される側」という事ではなく、入居者やご家族と共に知恵を出し合い、新たな杏心の丘での日常を作り上げる年としたいと思います。



今年は牛のような貫禄を出して新型コロナウイルスを館内にいれさせません！ 宮崎 真吾



今年は牛のように一歩一歩着実丁寧に物事に取り組んで行きます！

榊永 美里



経営管理部

春日クリニックグループの縁の下の力持ち、経営管理部です。昨年末に人事異動や新しい仲間の入職でリニューアルしたばかり。患者さん、利用者さんに直接お会いする機会はとても少ないですが、グループ全事業所をバックアップするため、今年も一丸となって頑張ります。

新しいことにたくさんチャレンジしていく楽しい1年にします♪
経営管理部 部長 清田 恵子

継続は力なり！
今年もコツコツ頑張ります。
経理主任
竹下 まどか

初めての環境ですが、早く戦力になれるように頑張ります。
水上 法純



元気な子供を産んで帰ってきます。
野村 遥

丑



委員会紹介

研修委員会 委員長 上野 真理子

2020年の研修委員会はコロナウイルス感染症の影響で、新しい形を模索して試行錯誤を繰り返した1年でした。2月の車椅子研修までは集まった研修ができましたが、それ以降は動画を使ったり、共有サーバーを利用したやりとりを通して、これまでとは違う研修会を続けてきました。

研修委員会ではその時々でみんなが「知りたい」と思った旬な話題に対して、工夫をしながら研修を企画しています。集まることができない分、様々な方法を探す中で、時間や場所にとらわれない新しい研修の形を見つけつつあります。みんなで知恵を出し合えば、いろんな解決策がある。そんな実感を持たせたことが、2020年一番の研修成果だったかもしれません。

2021年も早速いろいろな研修企画が持ち上がっています。枠にとらわれず、生き生きとワクワクしながら学べる研修を続けていきたいと思えます。



自由に
のびのび
楽しく学ぶ

美化委員会 委員長 平山 園子

クリニック移転の年に、「新しくなった建物を末永く大切にしたい」という思いから立ち上がった私たちの美化委員会。日々の清掃に加え重点的に清掃を要する箇所や取り組みたいテーマを年間計画として企画立案。実際の美化活動でキレイを実感できるまでの過程において、スタッフ自身活動を通して得る学びを仕事に活かしています。その効果で医療や介護のサービスとして皆さんに喜んで頂けていたら幸いです。引き続き感染防止も重点テーマとして、来られた皆さんがホッとできる空間を提供したいと思います。



広報委員会 委員長 清田 恵子

昨年9月末、300号を達成したはるかぜネットワーク。皆さんに役立つ情報をお届けするべく、各部署のネットワーク委員を中心に毎月コツコツと作成し続けています。私たちが「お伝えしたいこと」、読者の皆さんが「知りたいこと」、これから幅広い話題をお伝えし続けたいと思えます。ぜひリクエスト、エール、アドバイスをお寄せください。

今年も、「はるかぜネットワーク」をどうぞよろしくをお願いします。

春日クリニックグループの思いを繋げた聖火リレー。ついに聖火台へ点火。…すると、炎と一緒にQRコードが！

皆さんへ、動画で新年のご挨拶。2021年1月の期間限定公開です。

御笑覧ください。





春風狂句



年賀号

新年のごあいさつ

明けましておめでとございます。
毎号たくさんさんの狂句をお送りいただきありがとうございます。

去年は「ステイホーム」という言葉をよく聞きました。デイサービスやデイケアもお休みで、外との接触が少なくなった人も多かったようです。高齢者の中には、体や脳が衰えた、という人も。大変な問題です。狂句は脳トレの一環。お題（笠）に合わせ、面白い一句を作る。もうしばらくステイホームは続きそうです。ぜひ楽しく頭を使っていきましょう。

たくさんさんの投稿をお待ちしています。
本年も、どうぞよろしくお願い致します。

撰者 国府 良具

お知らせ

- ◎ 1月3日までは年末年始の休診です。診療は1月4日（月）からです。
 - ◎ 1月27日（水）上野先生がライフワークシナジー講演会で講師を務めます。
- 外来待合室で無料Wi-Fiが使えるようになりました。受診の際はご活用ください。

職員の名刺代わりにお渡しできればと作成した年賀号。お楽しみいただけましたか？今年もクリニックと皆さまをつなぐ橋渡しとして頑張ります。はるかぜネットワークをよろしくお祈いします。 春風静香

医療法人社団 清心会
〒860-0047 熊本市西区春日3丁目25番1号
URL : <http://www.seisinkai.or.jp>

1階	春日クリニック（2階 薬局・診察室） TEL096(351)7151 / FAX096(351)7152 診療科目：内科・小児科・リハビリテーション科・麻酔科（清田 武俊） その他：女性専用外来（水曜日午後 予約制）、各種健康診断、 相談業務（更年期・禁煙・認知症・肥満・在宅ホスピス） 健康増進事業（産業医・生活習慣病講話・出張指導） 春日クリニック訪問リハビリテーション はるかぜ通所リハビリテーション TEL 096(351)3551 / FAX 096(351)3559
2階	はるかぜ訪問看護ステーション TEL 096(351)6228 / FAX 096(351)6151 はるかぜ居宅介護支援事業所 TEL 096(322)7221 / FAX 096(351)6151
3階	法人本部（経営管理部） TEL 096(351)6225 / FAX 096(351)7154

指定小規模多機能型居宅介護はるかぜ
〒860-0047 熊本市西区春日5丁目7番16号
TEL 096(212)3332 / FAX 096(212)3362



地域包括ケア 杏心の丘
〒860-0047 熊本市西区春日4丁目18番28号

1階	看護小規模多機能型居宅介護はるかぜ TEL 096(352)1155 / FAX 096(352)2255 はるかぜ介護福祉ステーション TEL 096(323)5520 / FAX 096(352)2255
2階	デイサービスセンターはるかぜ TEL 096(326)1515 / FAX 096(324)5678
2階 3階 4階	サービス付き高齢者向け住宅 杏心の丘 TEL 096(326)2000 / FAX 096(324)5678
5階	杏心の丘壱番館